



病診連携通信

第55号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂綜合病院
令和7年 11月吉日



腎臓は体から老廃物を排出するだけでなく、血圧をコントロールしたり血液を作るホルモンを作ったりと、様々な大切な働きをしている臓器です。

慢性腎臓病とは？



その腎臓の機能が慢性的に低下している状態を指します。全国で約2000万人(およそ成人5人に1人)いると推計され、新たな国民病と言われています。

慢性腎臓病の初期には症状はほぼありません。

進行してくるとむくみや倦怠感、息切れ、貧血症状などが出でてきます。



治療でまず大事なのは生活習慣の見直しです。

- ・禁煙。
- ・過度の飲酒を控える。（アルコールとして1日20g未満）
- ・適度な運動を習慣づける。

また、食事に関しては、以下の制限が必要です。

- ・塩分制限 1日6g未満が推奨されています。
- ・蛋白制限 慢性腎臓病のステージに応じて変わりますが、過度の摂取を控えることが重要です。
- ・カリウム制限 カリウムは生野菜や果物に多く含まれ、中等度以上の慢性腎臓病では制限が必要になります。

これに加えて、薬物療法を適宜行います。

代表的な薬剤としては、以下のものがあります。

降圧薬 ARBやACE阻害薬といった薬が主に用いられます。

SGLT2阻害薬 元は糖尿病の薬でしたが、

慢性腎臓病にも効果があることが報告されています。

(食事が摂れない時は休薬が必要です。)



慢性腎臓病は治ることはできませんが、

適切な治療を早期から行うことで進行を遅らせることができます。

気になることがあれば、お気軽に当院の腎臓内科にご相談ください。

腎臓内科 深澤 巧

寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんの紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760（直通）または

☎024-932-6363（代表）にお願い致します。